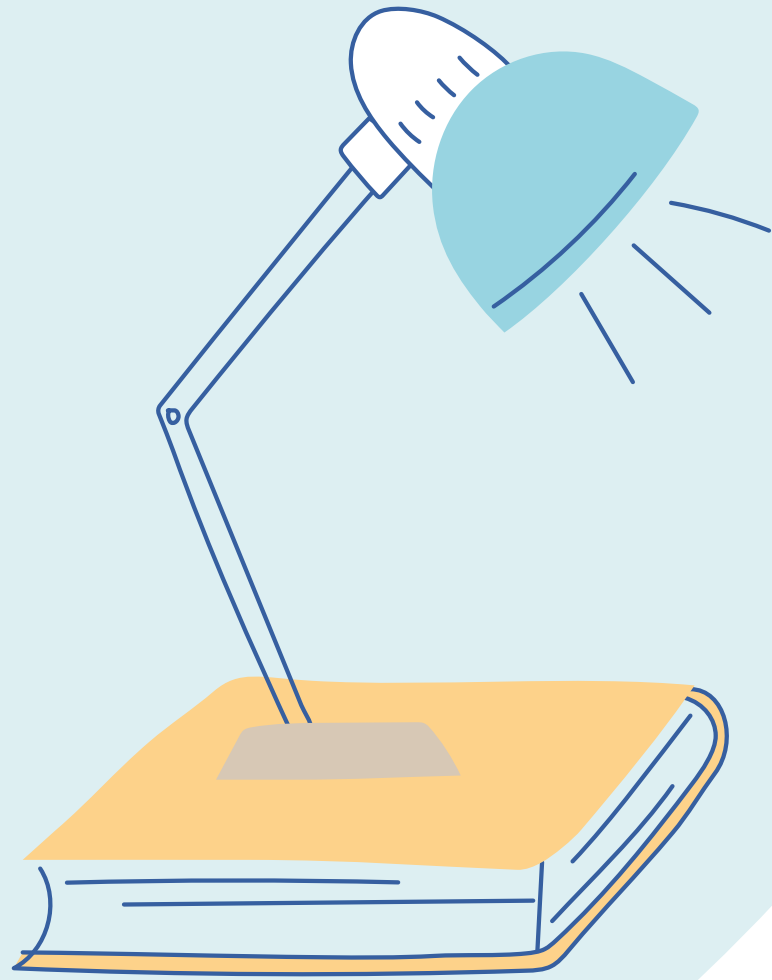


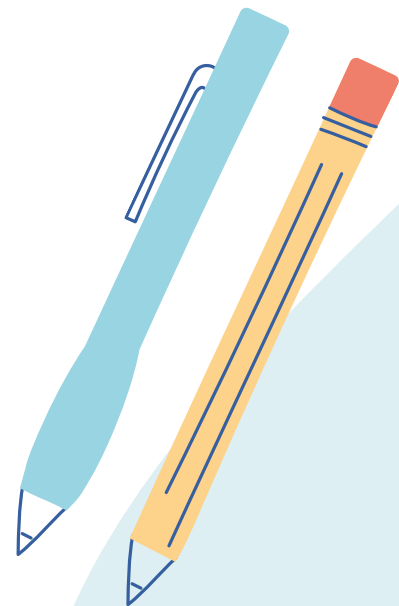
読書管理アプリ

*My Library*



# AGENDA

- Overview 01
- Main Features 02
- Security 03
- difficulties 04
- Demo



# Overview

- My Libraryは読書を管理するアプリです
- Spring Boot × Thymeleafで作成しました
- SSRでHTMLを返す方式です

## Tech Stack

Lang	Framework	DB	Env
<div>Java v21</div> <div>HTML5</div> <div>CSS3</div> <div>JavaScript</div>	<div>Spring</div> <div>Spring Boot v3.2.2</div> <div>Spring Security v6.2.1</div> <div>Bootstrap v5.3.0</div>	<div>PostgreSQL v16</div>	<div>Eclipse IDE</div> <div>Maven</div> <div>Windows 11</div>



# Main Features

## 1. ユーザーログイン機能

- ・ユーザーログインを実装することで自分だけの読書リストを作成できます。
- ・remember-me機能を実装し、煩わしいログイン処理から解放されます。

## 2. 読書中の本を管理(CRUD)

- ・今何の本を読んでいるかを記録し、メモ等自由に書き込めます。
- ・内容を自由にカスタマイズでき、条件指定による検索も可能です。

## 3. 本棚に読み終えた本を保管(CRUD)

- ・読み終えた本は本棚に保管されます、これで自分が今までどんな本を読んだか忘れません。
- ・もちろん後から内容を編集することも可能です。
- ・検索条件を指定し本を詳細に検索することもできます。



# Security

## 1. CSRFトークンを使用

- ・ defaultのCSRF対策を有効化し、ログイン処理から適用されるようにカスタマイズしました。postリクエスト時にcsrfトークンを送信しています。

## 2. CORS設定

- ・ 異なるオリジンでのリソース共有を防ぐため、ローカルホストからのリクエストしか受け付けないようにしています。これはXSSやCSRF対策になります。
- ・ また、入力された文字列をエスケープして表示しています。

## 3. remember-meトークンはデータベースに保存

- ・ 単純なユーザー名とパスワードのハッシュでは脆弱性があり、ユーザー名に関してはCookieからばれてしまいます。
- ・ シリーズ（主キー）とトークンで構成され、トークンは毎回生成されますがDBに記録されているため、アプリを再起動してもログインは継続します。

# difficulties

## 1. 画像の保存 & 表示

- ・ DBに画像のパスを保存し、エンコードして表示するという方法を採用しました。

## 2. JOIN結果をDTOにセット

- ・ 複数のテーブルをJOINして、DTOオブジェクトにセットする方法がわからず、何度もエラーが出ました。
- ・ 様々試行錯誤した結果、無事にJOIN結果をDTOにマッピングすることに成功

## 3. Spring Securityを理解する

- ・ 一番の難関です、まず仕組みを理解するのに相当時間がかかりました。今まで無事に動作していたアプリにSpring Securityを導入した途端にエラー祭りでした。
- ・ 公式のドキュメントが最も信頼できると実感、まだまだ理解が足りないので今後も勉強していきたい。



***Thank you  
for listening***